

令和5年5月15日
神尾歯科医院

令和4年度 歯科講話・歯科指導、質問への回答

Q、歯が欠けたら抜けた時と同じ扱いになりますか。

A、欠けたものがある時は、抜けた時と同じように牛乳などに浸けて歯科医院に持ってきてください。歯に付けて戻せる場合もあります。

Q、なぜ抜けてしまった歯を牛乳につけるのですか。

A、歯の根の部分には、歯根膜という組織があります。牛乳は人の体液と似た成分なので、歯根膜の組織を守ることができます。水などの他の液体では歯根膜を乾燥からは守れますが、成分が違うことから組織が死んでしまい（浸透圧）、元に戻せなくなります。

Q、家で使っている「やわらか歯間ブラシ」は子どもが使ってよいものですか。

A、中学生の皆さんが使用するには、歯間ブラシは歯間が狭く歯肉を傷つけてしまうため、使用しないでください。フロス（糸ようじ）を使用しましょう。

Q、歯肉炎になったら発熱しますか。

A、歯肉炎では発熱はしません。しかし重度の歯周病になると歯肉が腫れて発熱することもあります。

Q、電動歯ブラシを使うのは良くないですか。

A、電動歯ブラシはたくさん種類があり、中には精度が良いものもありますが、初めから全ての歯に適切に使うのは難しいため、まずは普通の歯ブラシで正しいブラッシングを覚えてからにしましょう。

Q、山型の歯ブラシなどよくテレビで見ますが、汚れがよく落ちるといのは嘘ですか。

A、山型の歯ブラシは皆さんにはオススメできません。平らな歯ブラシで小刻みに動かして磨くバス法やスクラビング法で磨くのをオススメします。

Q、矯正をしているとフロスができないことが心配です。矯正をしていても染出しはして良いですか。

A、矯正中はフロスが難しい場所があります。矯正治療をしている歯科医院でブラッシング指導を受けてください。
また、染め出しは矯正装置が赤くなり、色が取れにくくなるので、矯正中はしないほうが良いです。

Q、歯の色は、歯の健康状態と関係がありますか。

A、歯の色と健康は関係ありませんが、1歯だけ変色してきた時はその歯の神経が死んでしまった可能性がありますので、歯科医院で診てもらってください。

Q、むし歯で神経を抜いたことがあるのですが、その歯がなかなか抜けず、永久歯が横から出てきそうなのですが、どうしたらよいですか。

A、永久歯が出てきそう場合は、神経を抜いた乳歯は歯科医院で抜いてもらってください。

Q、今まで見てきた歯の中で一番大変だった状況はどんな様子でしたか。

A、大変だった患者様はたくさんいますが、来院された時すでにお口の癌（がん）が重症になっており、残念ながらお亡くなりになってしまった患者様もいました。定期健診がとても重要だと思います。